

科目名	言語・聴覚障害者の心理と教育		担当教員	鈴木 祥隆	
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	ED4SSR316
期待される学修成果	教科教育 子ども理解				
アクティブ・ラーニングの要素	ディスカッション、ディベート				
実務経験					
実務経験を生かした授業内容					
到達目標及びテーマ	言語・聴覚障害児の発達課題や心理特性、教育内容や方法をおおむね理解し、現状と課題を考察できる。				
授業の概要	言語障害児教育、聴覚障害教育の内容・方法、一人一人の発達課題等に応じた聴覚障害児教育の在り方等について解説するとともに、教育現場の現状と課題等について考察する。				

授業計画	
第1回	講義のガイダンス、言語障害・聴覚障害の概要、障害者の就労
第2回	聾学校の教育の概要、重度聴覚障害児の指導の課題
第3回	聾学校での授業での指導・支援 1
第4回	聾学校での授業での指導・支援 2
第5回	聴覚障害児の自立活動、補聴器・人工内耳の仕組み、聞こえとことばの指導
第6回	聾重複障害児の指導・支援
第7回	通常の学校で学ぶ聴覚障害児の指導
第8回	大学で学ぶ聴覚障害学生の支援 - 学生支援体制と情報保障
第9回	ことばの発達のプロセスと発達の評価
第10回	保護者および家族支援の在り方
第11回	発音の評価とその指導
第12回	文法・読書力の評価とその指導
第13回	吃音の概要とその指導
第14回	読み書き障害とその指導
第15回	まとめ

事前学修	2時間	・(すべての受講学生) 第1回目に指示します。 ・(可能であれば) 山本おさむ作「わが指のオーケストラ」「どんぐりの家」「遙かなる甲子園」等の聴覚障害児者が登場する漫画を読んでおく。
事後学修	2時間	・聴覚障害者が登場する映画「レインツリーの国」「聲の形」「バベル」「名もなく貧しく美しく」等を視聴し、聴覚障害者の心理や生活について考える機会を作る。
フィードバックの方法	フィードバックとして最終評価試験の模範解答を示し、試験後の時間に解説する。	

成績評価方法	割合 (%)	評価基準等
定期試験	70%	
上記以外の試験・平常点評価	30%	授業の出席などの平常点や課題の提出物を評価する。
補足事項		

教科書
-----

書名	著者	出版社	ISBN	備考
特になし	なし	なし	なし	なし
参考資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学校幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領</li> <li>・特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編（幼稚部・小学部・中学部）</li> <li>・特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編（小学部・中学部）</li> <li>・特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）</li> <li>・聴覚障害教育の手引 言語に関する指導の充実を目指して</li> </ul>			